

TBS08 Bluetooth スピーカー 取扱説明書

本取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。また、ご使用になる接続機器の取扱説明書の「Bluetooth」に関する項目もあわせてお読みください。取扱説明書は大切に保管し、いつでも参照できるようにしてください。ここに記した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害度合いの程度を明示するために、誤った取扱いをすることで生じることが想定される内容を「警告」「注意」に区分してあります。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

- 車の中で使用しないでください。スピーカー本体がブレーキペダルの下などに落下した場合、運転の妨げになり、事故やケガの原因になります。
- 本製品を水につけたり、濡らさないでください。水に濡れたものは使用しないでください。また濡れた手でさわらないでください。感電、発熱、発火の原因になります。
- 本製品を直射日光の当たる場所、暖房器具などのそばや、湿度の高い場所では使用、保管をしないでください。感電、発熱、発火、故障の原因になります。
- 充電する前には必ず、各接続部を確認してください。ホコリなどの付着がある場合やコネクタ部が変形・破損した場合は、使用をおやめください。ショート、火災の原因になります。
- 充電時には必ず、接続する向きをご確認ください。無理に逆向きで接続しないでください。コネクタの破損、ショート、火災、故障の原因になります。
- 分解、改造などを絶対にしないでください。発熱、発火、感電、ケガをすることがあります。
- 乳幼児・小児の手の届かない場所で使用、保管してください。ケーブルや本製品による事故や誤飲などの危険性があります。
- 本製品のプラグ、ジャックの端子をショートさせないでください。感電、発熱、発火やケガの原因になります。
- 本製品を火中に投入したり、電子レンジ、オーブンなどで加熱したりしないでください。破裂、火災、ケガ、故障の原因になります。
- 本製品を投げたり、衝撃を与えないでください。事故、ケガ、故障の原因になります。
- 雷がなりはじめたら、安全のため本製品や接続されている各機器にさわらないでください。落雷による感電の原因となります。
- 本製品を踏みつけたりするような危険性がある場所に放置しないでください。ケガや事故の原因になります。
- また重い物を載せたり、落下しやすい場所、磁気、ホコリの多い場所に置かないでください。発熱、発火、故障の原因になります。
- 病院や交通機関の一部など、高周波無線機の電源を切ることが義務付けされている場所では、本製品の電源をお切りください。トラブルの原因になります。
- 航空機に搭乗する際は、事前に本製品の電源を切り、機内では絶対に使用しないでください。トラブルの原因になります。

ご使用にならない時は必ず、全ての接続箇所を取りはずし、安全な場所に保管してください。火災、感電、故障、事故の原因となります。

注意 人が軽傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

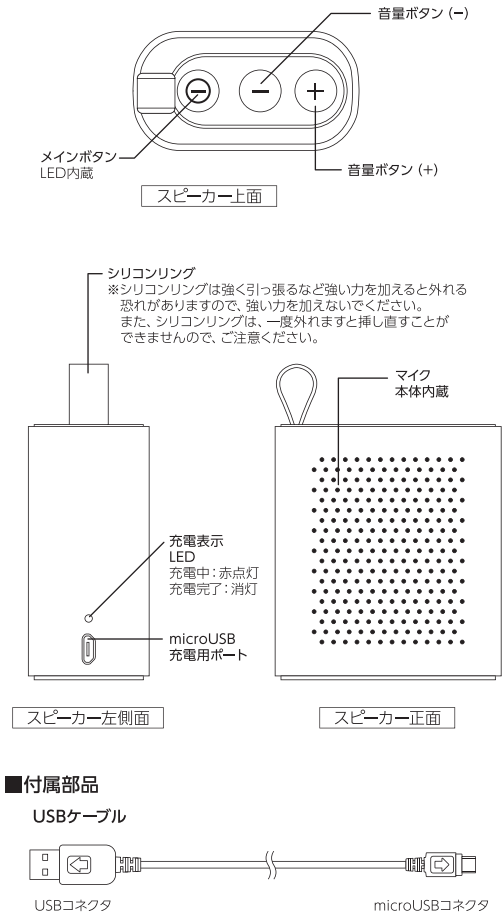
- 5℃～35℃の環境でご使用ください。それ以外の環境でのご使用は、おやめください。
- 極端な温度条件下では保管しないでください。※-10℃～40℃内の環境下で保管してください。
- 次の場所では故障の原因になりますので保管および使用しないでください。強い磁界が発生する場所「静電気が発生する場所」「温度や湿度が高い場所」「火気の周辺、熱気のこもる場所」「漏電、漏水の危険がある場所」。
- 本製品を充電中、本製品が多少発熱しますが、故障ではありません。本製品の電池が極端に熱くなったり、本製品に異常を感じた場合は、直ちに使用を中止してください。
- 各機器からコネクタをはずす際はコネクタ本体を持っておこなってください。ケーブルを持って強く引っ張るなどの衝撃を与えると断線、故障の原因になります。
- 本製品が汚れた場合、乾いた布でふきとってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどでふかないでください。本製品を傷める原因になります。
- 本製品には繰り返し充電できるリチウム電池を内蔵しています。万一、内蔵電池が液漏れした場合は、素手で液をさわらないでください。液が目に入った場合は、失明の原因になる恐れがありますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、直ちに医師の治療を受けてください。
- また液が体や衣服についた時も、火傷やケガの原因になりますので、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流し、皮膚に炎症やケガの症状がある場合は、直ちに医師に相談してください。
- 本製品をポケットやバッグの中に入れ持ち運ぶ際は強い力が加わらないようにご注意ください。本製品の破損の原因となります。

使用上のご注意

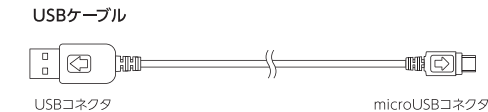
- 接続機器によっては本製品の各機能に対応していない場合や、対応していても相性により動作が不安定な場合があります。
- 本製品には電池が内蔵されています。出荷時には十分に充電されていませんので、必ずご使用前に充電してください。
- 充電には、必ず付属のUSBケーブルをご使用ください。
- 満充電に要する時間は空の電池状態から約3.5時間です。
- 充電した後も使用時間が極端に短くなった場合は内蔵電池の寿命です。
- 内蔵電池は交換できません。あらかじめご了承ください。
- 内蔵電池が完全に放電しているとき、充電中の表示LEDが点灯するまでしばらく時間がかる場合があります。
- 内蔵電池の残量が少ない状態で使用すると、内蔵電池の寿命を縮める原因となり、待ち受け時間も短くなります。ご使用前には毎回充電するようにしてください。
- 長期間使用しない場合は、約1ヶ月ごとに充電してください。
- 本製品は防水、防滴仕様ではありません。水がかかる場所や湿気の多い場所では使用しないでください。

製品構成と各部の名称

■スピーカー本体



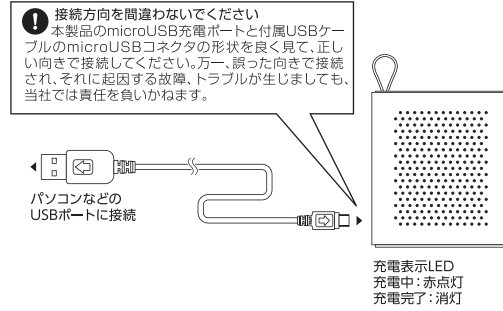
■付属部品



スピーカーを充電します

ご使用前に必ず充電してください

- 本製品のmicroUSB充電ポートに、付属のUSBケーブルを差し込み、パソコンなどのUSBポートに接続してください。
- 充電中は本製品の充電表示LEDが赤色に点灯します。
- 充電が完了すると本製品の充電表示LEDが消灯します。USBケーブルを抜いてください。
- 満充電に要する時間は空の電池状態から約3.5時間です。



- ※本製品付属のUSBケーブルに他のUSB機器を接続しないでください。
- ※ご購入後、初めての充電には約4.5時間かかる場合があります。
- ※接続するUSBポート側により充電完了後も本製品の充電表示LEDが消灯しない場合があります。
- ※充電完了後は必ず、USB電源ポートからUSBケーブルをはずし、スピーカーもはずしてください。
- ※長期間使用しない場合は、約1ヶ月ごとに充電してください。

ご使用方法

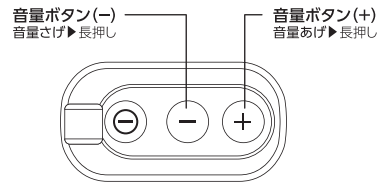
電源の入れ方、切り方

- メインボタンを約2秒長押ししてください。起動音が鳴り、メインボタンが点滅して電源が入ります。
- 電源を切る時は、メインボタンを点滅が終わるまで、約4秒間長押ししてください。

- ※ご購入後、初めて電源をONにした場合やBluetooth設定ON状態のペアリング済み携帯電話機が近くに無い場合などには、ヘッドセットは自動的ペアリングモード（メインボタンが早い点滅）になります。
- ※ペアリングモード（メインボタンが早い点滅）が約10分間継続すると、本製品の電源は自動的にOFF（オートパワーオフ）になります。再度、電源を入れる時はメインボタンを約2秒長押しして電源を入れ直してください。

音量調整

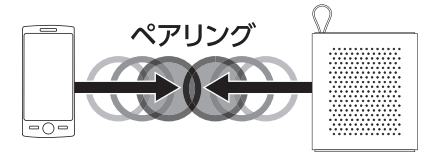
- 音量大ボタン(+)と音量小ボタン(-)を長押しして調整してください。



ご注意 ※短く押すと別の機能が動きますのでご注意ください。

携帯電話機（スマートフォン）とのペアリング・接続 ①

初めてご使用の際には、携帯電話機とスピーカーをそれぞれ接続相手として登録（ペアリング）する必要があります。



一度ペアリングすれば、次回からペアリングする必要はありません。

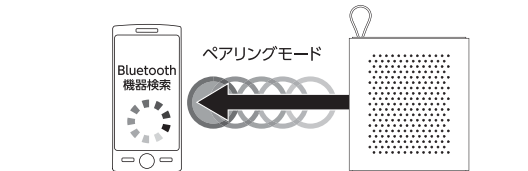


ペアリング後、携帯電話機とスピーカーをBluetooth接続することにより使用可能になります。

※ペアリング後、携帯電話機の機種により自動で音楽再生される場合がありますので、ご注意ください。

- ①携帯電話機と電源OFF状態のスピーカーを1m以内に置き、途中に障害になる物がないことをご確認ください。携帯電話機のBluetooth設定をONにしてください。

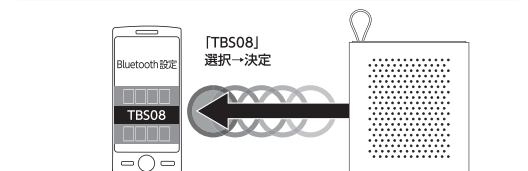
- ②スピーカーのメインボタンを約2秒押ししてください。起動音が鳴り、メインボタンが点滅しペアリングモードになります。



- ※一度ペアリングした携帯電話機がBluetooth設定ONの状態と近くなると、スピーカーがその携帯電話機との接続を優先するためペアリングモードにならない場合があります。新たな機器とペアリングをおこなう際は既にペアリング済みの機器のBluetooth設定をOFFにしてください。
- ※約10分以内にペアリングが完了できない場合、電源が自動的にOFF（オートパワーオフ）になります。再度ペアリングをおこなう場合は電源を入れ直してください。

- ③携帯電話機のBluetooth設定方法に従い、ペアリングをおこないます。

※携帯電話機により設定方法が異なりますので、必ず携帯電話機の取扱説明書をお読みいただき、ご不明な点は各通信会社までお問い合わせください。



- ④携帯電話機が本製品を認識すると、画面の接続機器リストに本製品の型式名「TBS08」が表示されるので、携帯電話機を操作し選択してください。

携帯電話機(スマートフォン)とのペアリング・接続 ②

- ⑤携帯電話機からパスキー(認証コード)の入力を要求されたら「0000」数字のゼロ4つを入力してください。
※パスキー入力がない携帯電話機もあります。

※パスキー(認証コード)はパスコード、PINコード、PINナンバーなどと表示される場合があります。
※携帯電話機によっては、パスキー入力画面に移る前に、携帯電話機の端末暗証番号の入力を求められる場合があります。その場合は、あらかじめ決められた暗証番号か、お客様が任意で設定された暗証番号を入力してください。本製品のパスキーとは異なりますのでご注意ください。



パスキー
「0000」
入力
決定

- ⑥ここまでの操作で、ペアリングと同時に本製品と携帯電話機が接続され通信可能状態になる機種と、さらに携帯電話機側で「接続」の操作が必要な機種があります。接続の操作については、携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。

※本製品は複数の携帯電話機(最大8台)とペアリング(登録)が可能です。
※ペアリング情報を削除する場合は、携帯電話機の登録リストから「[BS08]」を削除してください。
※携帯電話機側で「[対応プロファイル]」の選択画面が出た場合は「[ハンズフリー(HFP)]」「[音楽データ(A2DP)]」「[オーディオリモコン(AVRCP)]」を選択してください。「[ワイヤレス機器]」「[ヘッドセット]」などは選択しないでください。

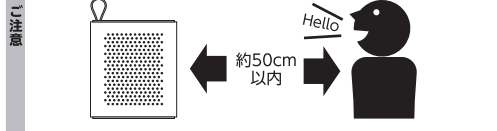
- ①本製品と携帯電話機の接続が完了し、通信可能状態になるとスピーカーのメインボタンは、約3秒間隔で点滅します。

- ②一度ペアリングをおこなえば携帯電話機やスピーカーの電源を切ったりBluetooth機能をOFFにするなどして接続が切れた場合でも、次に使用する際に再度ペアリング操作をおこなう必要はありません。
ただし、「接続」については、自動で接続までおこなう機種と、携帯電話機による接続操作が必要な機種があります。携帯電話機による接続操作については、携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。

※以下の場合には再ペアリングが必要になります。
・携帯電話機から本製品とのペアリング情報が削除された場合。
・ペアリング情報が正しく認識できなくなったり、本製品が操作不能になったり、接続が不安定になった場合には、携帯電話機からペアリング情報を削除し再度ペアリングの操作をおこなってください。

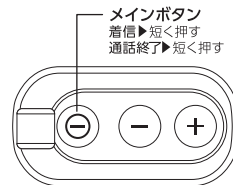
電話機能について

※本製品を使用して通話する場合には、使用環境によっても異なりますが、スピーカー正面から約50cm以内の距離でご使用ください。それ以上の距離で使用しますと通話相手が音声を聞き取りにくくなる恐れがあります。
※本製品では、周囲の雑音などが多い場所での通話には適していません。



電話を受ける

- ①携帯電話機に着信したら、メインボタンを短く押してください。



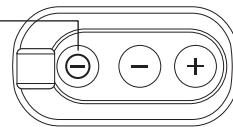
- ②通話を終了するには、メインボタンを短く押してください。

※スピーカーから聞こえる着信音は、携帯電話機に設定した音とは異なる場合があります。着メロなどを設定している場合も同様です。
※携帯電話機本体から着信音が鳴動するように設定している場合、スピーカーからは着信音が聞こえない場合があります。
※通話状態になるまで、少しタイムラグが発生する場合があります。

●着信拒否

着信中に、メインボタンを2回押すと、着信を拒否することができます。

メインボタン
着信拒否▶短く2回押す
(ダブルクリック)

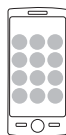


※着信拒否時の動作は、携帯電話機や設定により異なります。
例：着信を遮断する・接続できない旨のアナウンスが流れる・留守番電話サービスに接続するなど、詳しくは携帯電話機の取扱説明書をご確認ください。
※携帯電話機によっては本機能に対応していない場合や、対応していても相性により動作が不安定な場合があります。

電話をかける

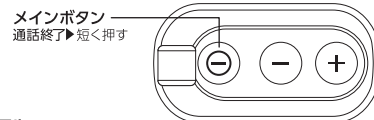
- ①電話をかけるには、携帯電話機側で発信操作をおこなってください。

※携帯電話機により、自動的に本製品での通話が開始できない場合があります。その場合は発信後、携帯電話機を操作して音声通話を本製品に切り替える必要があります。携帯電話機の操作方法につきましては、携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。
※本製品の操作で携帯電話機との音声通話の切り替えはできません。



発信操作は
携帯電話機で
おこなう

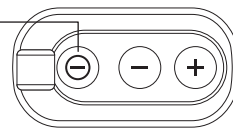
- ②通話を終了するには、メインボタンを短く押してください。



●リダイヤル

携帯電話機が待ち受け時に、メインボタンをダブルクリック(短く2回押し)すると、携帯電話機から最後に発信した番号に発信します。

メインボタン
リダイヤル▶短く2回押す
(ダブルクリック)



※携帯電話機によっては本機能に対応していない場合や、対応していても相性により動作が不安定な場合があります。

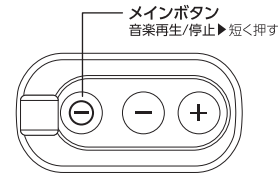
音楽再生/オーディオビジュアル再生

携帯電話機が機器操作機能(AVRCP)に対応している場合は、スピーカーで携帯電話機の音楽再生(基本操作)ができます。

※携帯電話機に対応機能については、携帯電話機の取扱説明書をご確認ください。
※携帯電話機がAVRCPプロファイルに対応していない場合はご使用できません。
※携帯電話機によっては、全ての操作に対応しない場合があります。

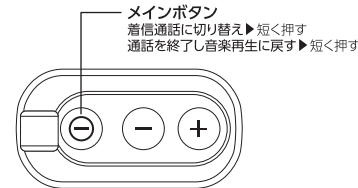
音楽の再生/停止

- ①メインボタンを短く押すと、音楽が再生されます。
②再度、メインボタンを短く押すと、音楽が停止します。



音楽再生中に着信通話をする

- ①携帯電話機に着信があると、音楽が一時停止し、スピーカーから着信音が聞こえます。
②スピーカーのメインボタンを短く押すと、通話状態になります。
③通話を終了するにはメインボタンを短く押してください。通話終了後、音楽再生に戻ります。



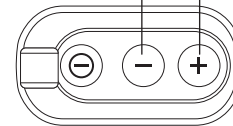
※携帯電話機の設定により着信音がスピーカーから聞こえない場合があります。詳しくは携帯電話機の取扱説明書をご確認ください。
※携帯電話機によっては、通話終了後自動で音楽再生に戻らない場合があります。その場合は、携帯電話機で音楽再生をおこなってください。
※携帯電話機によっては、音量調節ができない場合があります。

音楽の曲送り/曲戻し

- ①再生中に音量ボタン(+)を短く押すと、次曲に曲送りされます。
②再生中に音量ボタン(-)を短く押すと、曲頭に曲戻しされます。
③続けて音量ボタン(-)を短く押すと、前曲に曲戻しされます。

音量ボタン(-)
曲戻し▶短く押す
音量上げ▶長く押す

音量ボタン(+)
曲送り▶短く押す
音量あげ▶長く押す



操作一覧

状態	操作/効果音	表示
スピーカーの充電	スピーカーにUSBケーブル接続	充電中⇒充電表示LED赤点灯 充電完了⇒充電表示LED消灯
電源 ON	メインボタンを約2秒押す(起動音有)	接続可能機器がない場合 ペアリングモード⇒メインボタンLED【早い点滅】 接続可能機器がある場合 接続⇒メインボタンLED【約3秒に一回点滅】
電源 OFF	メインボタンを約4秒押す	メインボタンLED【点灯】後、電源OFF
待受け状態(携帯電話機と接続時)	—	メインボタンLED【約3秒に一回点滅】
携帯電話機との接続が切断した場合	ペアリングモードになり、約10分経過後電源OFF	メインボタンLED【早い点滅】
音楽再生時	—	メインボタンLED【約10秒に一回点滅】
オートパワーオフ	未接続状態で、約10分経過後電源OFF	—
バッテリーLOW警告	警告音	—

電話機能

着信時	—	メインボタンLED【早い点滅】
電話を受ける	メインボタンを短く押す	—
電話をかける	携帯電話機側で発信操作	—
通話中	—	メインボタンLED【約1秒に一回点滅】
通話を終了する	メインボタンを短く押す	—
着信拒否	着信時にメインボタンを2回押す	—
リダイヤル	待受け状態時にメインボタンを2回押す	—
音量調整	音量ボタン(+)もしくは音量ボタン(-)を長押し	—